

学習指導要領		板橋高校 学カスタンダード
<p>A 話すこと・聞くこと</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>幅広く調べた内容を整理して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を基に、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・論拠に基づき、反論を想定しながら自分の考えを話すことができる。</li> </ul> <p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉遣いで話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料などを使いながら言葉を選んで話すことができる。</li> </ul> <p>相手の立場を理解し、相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解することができる。</li> <li>・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが円滑に進むように、話の構成や展開、言葉遣いなどを考えて話すことができる。</li> </ul> <p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘することができる。</li> </ul>

学習指導要領		板橋高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体、語句を工夫して書くことができる。 《具体的な設定例》 ・自ら目的に応じて題材を選び、自分自身の体験や考えたことに加え、読書や調査および観察などで得られた材料を選択することができる。 ・常体と敬体を相手や目的に応じ、効果を考えて使い分けることができる。 ・文章の形態や文体を考え、語句や言い回しを工夫して書くことができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを説得力のある文章にまとめることができる。 《具体的な設定例》 ・「序論—本論—結論」、「現状認識—問題提起—解決—結論—展望」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立てや進め方を取り入れて、与えられた条件に応じた文章を書くことができる。 ・資料などを用いて、多角的な視点から論拠に基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	説明や描写を効果的に使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を考えて書くことができる。 《具体的な設定例》 ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的かつ的確に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現方法を工夫して、読み手がありありと想像できるように描写することができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	自他の文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 《具体的な設定例》 ・構成の仕方や語句の使い方などの良い点・直すべき点を指摘することができる。



学習指導要領	板橋高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p><b>【古典】</b> 教科書に取り上げられている、比較的短く平易な文章を、基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な用言・助動詞・敬語、係り結びなどを理解する。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訓点や基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（不、使など）について理解する。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b> 登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。</li> <li>比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。</li> </ul> <p><b>【古典】</b> 様々な文章の情景や登場人物の行動や心情、生き方などを読み取るとともに、情景描写の中にある心情の反映や象徴、物事の予兆としての表現などに気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p><b>古文</b></p> <p>『宇治拾遺物語』『児のそら寝』や『伊勢物語』『東下り』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとの人物の行動や心情を読み取り、説明できる。</li> <li>和歌に込められた心情を理解し、鑑賞することができる。</li> </ul>

学習指導要領	板橋高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項                      (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男の心情の変化やその過程と理由を説明できる。</li> </ul> <p><b>漢文</b></p> <p>『戦国策』「借虎威」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人物の行動や心情、場面、時代や場所、状況、出来事、情景などを読み取ることができる。</li> <li>・ 当時の中国の人々がどのような考え方を持っていたかを読み取り、現実の人間関係を考えることができる。</li> </ul> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。</li> <li>・ 情景や心情の変化をたどり、的確に作品全体の筋をとらえて説明できる。</li> <li>・ 用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。</li> <li>・ 書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。</li> </ul> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて適切に加工しながら活用することができる。</li> <li>・ 読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。</li> </ul> <p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p>

	学習指導要領	板橋高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項                      (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集（万葉・古今・新古今）、歌物語などについて理解する。</li> <li>・主要な古典知識や価値観（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事、結婚観や宗教観など）について理解する。</li> <li>・中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。</li> </ul> <p>主要な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な助詞（係助詞、「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解する。</li> <li>・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の主語・述語や修飾、被修飾の関係などを説明できる。</li> <li>・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解する。</li> <li>・言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で実現されていることを理解する。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について主要な事柄を知る。</p>

学習指導要領	板橋高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項                      (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。</li> <li>・主要な古今異義語（あはれなり、おどろく、ののしるなど）の意味の違いを知る。</li> </ul> <p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な文について、文の成分（主語、述語、修飾語など）を指摘することができる。</li> <li>・比較的平易な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。</li> <li>・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なもの（客観、理性、メカニズム、メディアなど）の意味を理解する。</li> </ul> <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な古語（遊び、いらふ、ありがたし、やがてなど）40 語程度の意味を知る。</li> <li>・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な漢語（不、使、也、欲、乃など）20 語程度の意味を知る。</li> </ul> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字 1006 字を含む 1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>